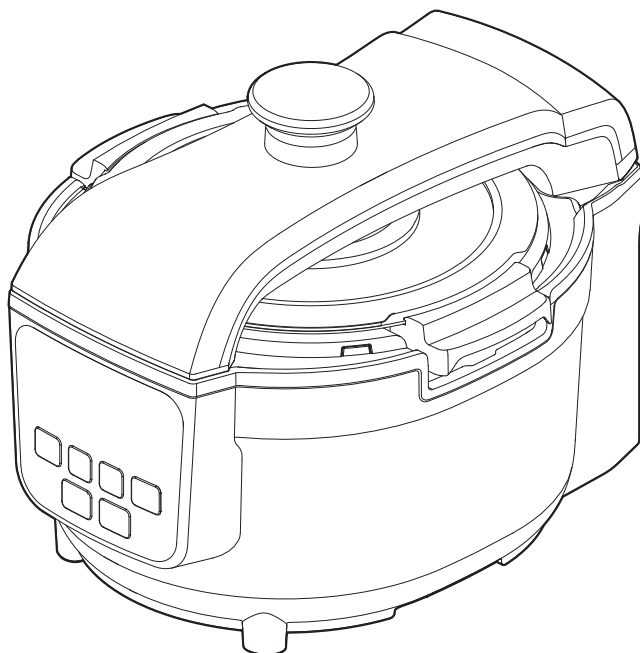


取扱説明書(WEB)

自動調理鍋

型番:SA-CH24 [室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆ 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に..... 7

安全上の注意..... 7

使用上の注意..... 13

各部の名称..... 14

使いかた..... 17

準備..... 17

自動調理..... 20

自動調理 予約しない場合..... 20

自動調理 予約する場合..... 25

手動調理..... 31

煮込み..... 32

炒め..... 37

蒸し..... 41

温度..... 45

再加熱..... 52

お手入れ..... 54

手動モード_お手入れ..... 58

こんなときは..... 60

故障かな？と思ったら..... 60

エラー表示..... 65

その他の情報.....	66
廃棄について.....	66
仕様.....	67
保証とアフターサービス.....	68
保証規定.....	69
お問い合わせ.....	70

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P11](#)

図記号の意味

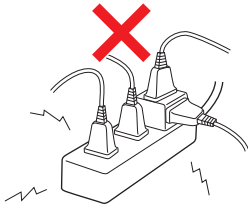
		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。

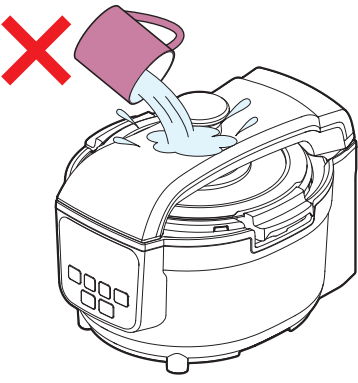


誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる発火・感電の原因になります。 - 電源は交流 100V・定格 15A 以上のコンセントを単独で使う 火災の原因になります。
	- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - お手入れ・点検・移動のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・けが・やけどの原因になります。
	- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P70 (☎ 電話をかける) へお問い合わせください。 - 電源コードを傷付けない - 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないで

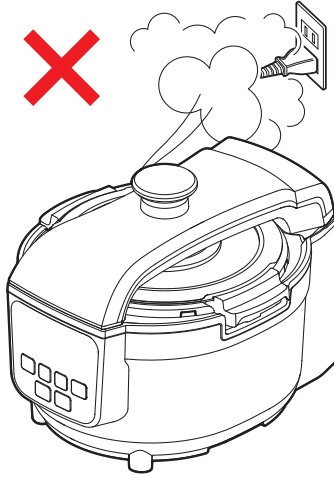
	ください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 電源コードを束ねて通電しない 過熱して火災・やけどの原因になります。 電源コードは必ずのばして使用してください。 ・ コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。 
 分解禁止	・ 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P70(☎ 電話をかける)にご相談ください。
	・ 穴・すき間・開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れたりしない 火災・感電・けが・やけどの原因になります。
	・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとピリピリ電気を感じる ▶ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P70(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	・ 本体に水をかけない ・ 本体を水洗いしない 漏電やショートを起こし、火災・感電の原因になります。

	
	・ 空だきをしない 変形・変色・故障の原因になります。
	・ 直火(ガス台など)や電磁調理器(IH クッキングヒーターなど)、電気ヒーターなどの上に載せない 火災の原因になります。 また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。
	・ 子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、幼児に触れさせたりしない 感電・けが・やけどの原因になります。
	・ 専用の内なべ以外使用しない ・ 内なべをガスコンロなど他の調理器具で使用しない 火災の原因になります。
	・ 水位線以上に水や食材を入れない 感電・けが・やけどの原因になります。
	・ 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない 火災・感電・けが・やけどの原因になります。 ・ 業務など家庭用以外で使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。
	・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

調理中は



- ・ 電源コード・電源プラグに蒸気を当てない
火災・感電の原因になります。



- ・ ガラスふたに、顔や手を近づけない
- ・ 調理中はガラスふたに触れない
- ・ 持ち運ばない
けが・やけど・事故の原因になります。
- ・ 回転中のかくはん棒に触れない
けが・やけどの原因になります。
途中、材料を追加するなどトップカバーを開ける場合は、かくはん棒の回転が止まってから開けてください。



- ・ 調理中、材料を追加するなど、トップカバーを開ける場合は、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付ける
やけどのおそれがあります。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。



- ・ 使用中や使用後しばらくは本体に触れない
やけどをするおそれがあります。
お手入れは十分に冷めてから行ってください。



- ・ 医療用ペースメーカーなどをお使いの方は、医師とよく相談する
本製品の動作がペースメーカーに影響を与えることがあります。

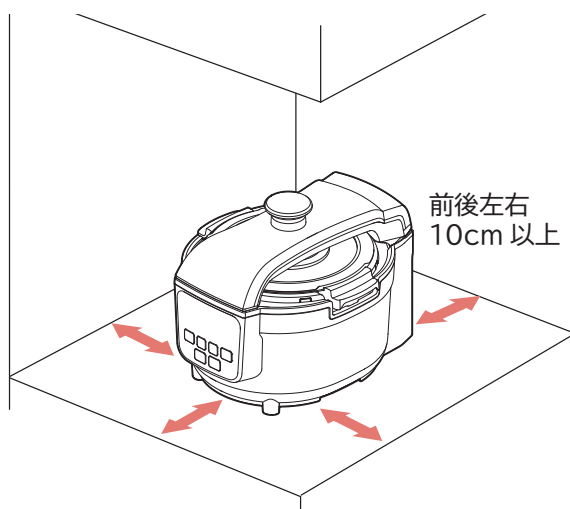


- ・ 外部タイマーなどを使って調理しない

使用場所について



- ・ 壁・家具・カーテンなどに蒸気が当たったり、こもったりする場所で使用しない
- ・ トップカバーを開けたときに壁や周囲のものに当たる場所で使用しない
壁・家具などから図に示す距離を空けてください。
壁・家具・カーテンの変色や変形・破損や汚損の原因になります。



- ・ 水のかかるところや、火気の近くで使用しない
ショート・感電の原因になります。
- ・ 床の上・地面の上で使用しない
- ・ 不安定な場所、熱に弱い敷物の上で使用しない
火災の原因になります。
かたい安定した台の上で使用してください。
- ・ 底面の吸気口・排気口をふさがない
カーペット・ビニールクロス・アルミホイル・布などの上で使用しないでください。
過熱して火災の原因になります。

	・ せまい棚の中で使用しない 操作パネルや電源コードに蒸気が当たると、火災・感電の原因になります
	・ 棚の耐荷重を守る 落下によるけが・やけどの原因になります。 耐荷重 15kg 以上のものを使ってください。

調理中は

	・ ふきんなどをかぶせない 過熱・火災や事故の原因になります。 また、変形や変色の原因になります。
	・ 調理後は、本体・ガラスふた・内なべなどが冷めてから取り外す けが・やけどの原因になります。

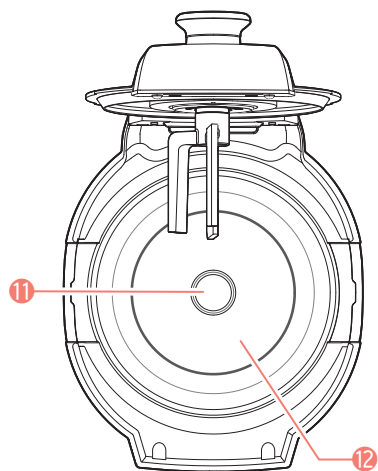
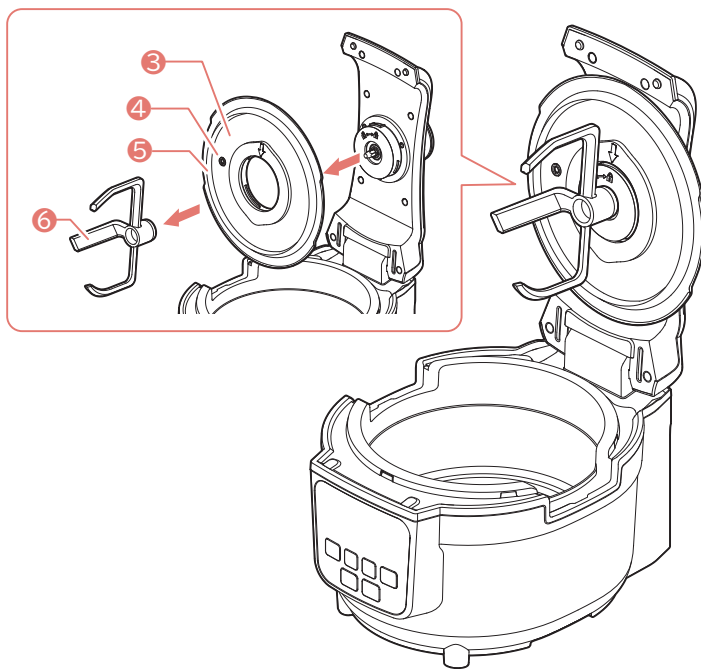
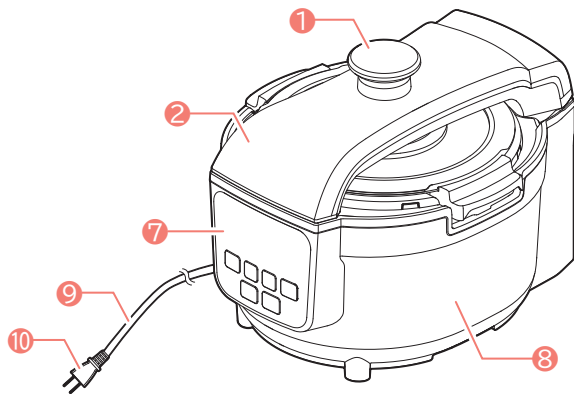
持ち運ぶときは

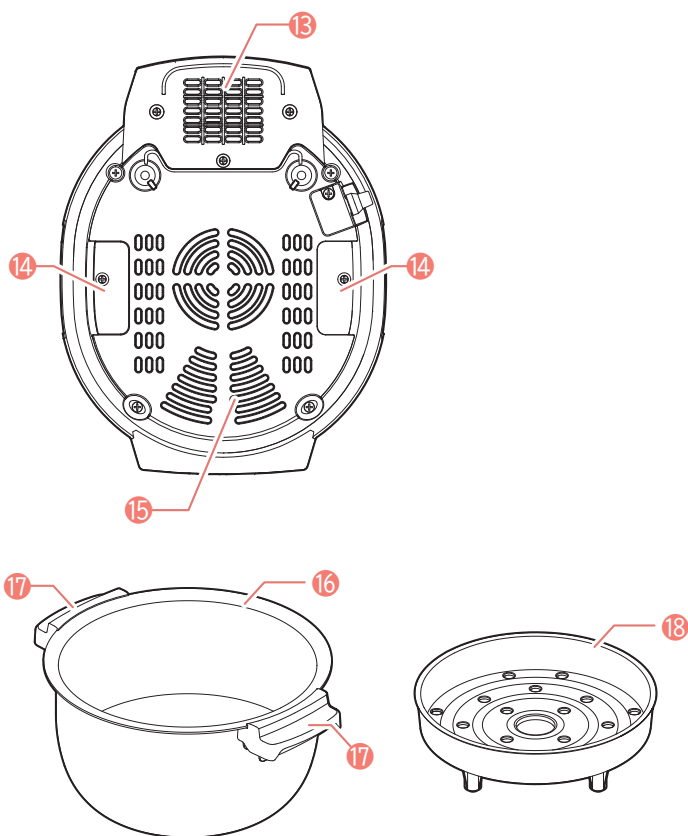
	・ 必ず本体取っ手を持つ 取っ手や内なべ取っ手を持って持ち上げようとすると、トップカバーが開き、本体や内なべが落下するおそれがあります。
	・ 内なべにガラスふたをした状態で持ち運ばない ガラスふたが落下するおそれがあります。 ・ トップカバーを開けたままで持ち運ばない ・ 振り回したり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない 破損して、火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 下記の調理をしないでください。
【調理全般】
 - ・多量の油を入れる調理(発火のおそれ)
 - ・ポップコーンなど、はじけるもの(けが・やけどのおそれ)【かくはん棒使用時】
 - ・骨付き肉、有頭えび、あさりやムール貝などの殻付き貝、カニの調理(内なべが傷付くおそれ)
 - ・もち作り、パン生地作り、わらびもち作りなど(けが・故障のおそれ)※公式レシピを調理する場合は、記載の分量を守ってください。
 - 調理前に、ガラスふた・本体・内なべ・温度センサーに汚れ・異物・水滴が付いていないことを確認してください。
 - 破損や蒸気口につまりがないことを確認してください。
 - 連続して使用すると本体が高温になり、うまく調理できません。(U03 エラー表示)
内なべを外して 10 ～ 15 分程度置いて本体が十分に冷めてから使用してください。
内なべに水を入れてトッパカバーを開けておくと、本体を冷ます時間を短縮できます。
(→[エラー表示 P65](#))
- ◆本書の表記と内容について
- 本製品の仕様および機能などは、予告なく変更されることがあります。
 - 本書に記載されているイラストは、実際とは異なる場合があります。

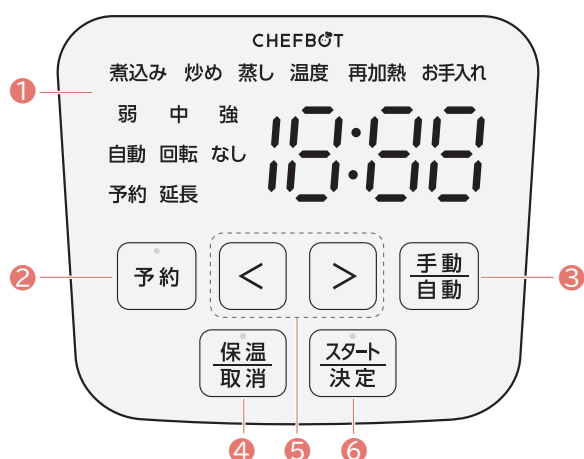
各部の名称





- ① 取っ手
- ② トップカバー
- ③ ガラスふた
- ④ 蒸気口
- ⑤ ガラスふたパッキン
- ⑥ かくはん棒
- ⑦ 操作部
- ⑧ 本体
- ⑨ 電源コード
- ⑩ 電源プラグ
- ⑪ 温度センサー
- ⑫ ヒーター
- ⑬ 吸気口
- ⑭ 本体持ち手
- ⑮ 排気口
- ⑯ 内なべ
- ⑰ 内なべ取っ手
- ⑱ 蒸しプレート(かくはん棒との同時使用はできません。)

—操作部



① 表示部(全表示の状態)



①	手動モード:モード設定中・調理中に点灯
②	火力設定
③	自動モード:モード設定中・調理中に点灯
④	予約:設定中・予約調理中に点灯
⑤	延長設定中・延長調理中に点灯
⑥	回転状態を表示
⑦	設定内容を表示(設定時) 残り時間を表示(調理中)

- ② 予約ボタン・ランプ
- ③ 手動/自動切り替えボタン
- ④ 保温/取消ボタン・ランプ
- ⑤ 選択ボタン
- ⑥ スタート/決定ボタン・ランプ

自動調理:材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。

手動調理:加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

使いかた

準備

初めて使用するときは、梱包材を取り外し、内なべ・ガラスふた・かはん棒を洗ってから使用してください。(→[お手入れ P54](#))

材料の準備については、付属のレシピブックまたは [WEB レシピ](#) を参照してください。

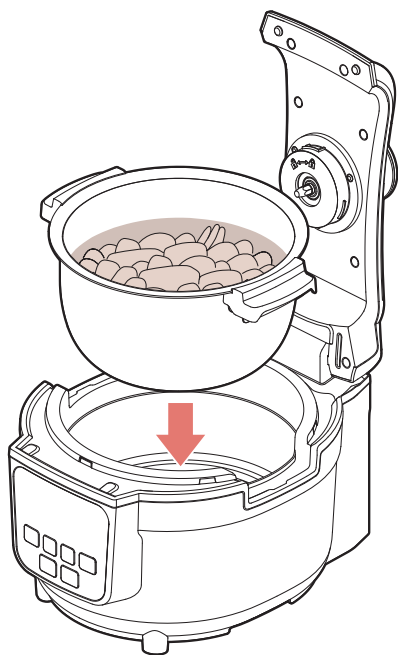
■ 次のことを確認してから調理を開始してください。

- ・ 本体・内なべ・ヒーターに、汚れ・異物・水滴が付いていないこと
- ・ ガラスふた・本体・内なべ・パッキンに食品かすが付いていないこと
- ・ ガラスふたの蒸気口に詰まりがないこと
- ・ 温度センサーに、汚れ・異物・水滴が付いていないこと
→ 温度センサーが汚れた状態で使用すると高温になり危険です。
汚れや異物などがある場合は、ご使用前に必ずお手入れをしてください。
- ・ 破損がないこと

■ 基本手順

材料を内なべに入れ、内なべを本体にセットする

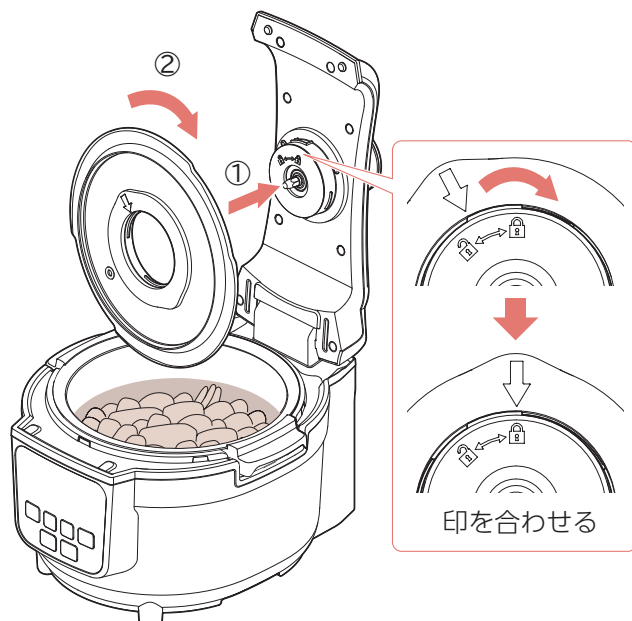
1



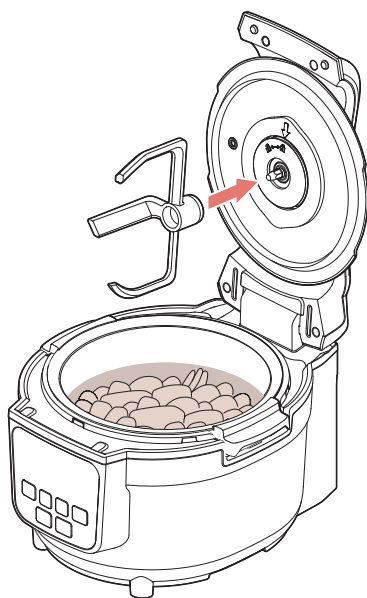
必要に応じて、ガラスふた・かくはん棒をセットする

ガラスふた・かくはん棒の使用については、付属のレシピブックまたは [WEBレシピ](#) をご確認ください。

- ・ セットする際は、ガラスふた→かくはん棒の順に取り付けてください。



- ・ かくはん棒は、マグネットで取り付けます。

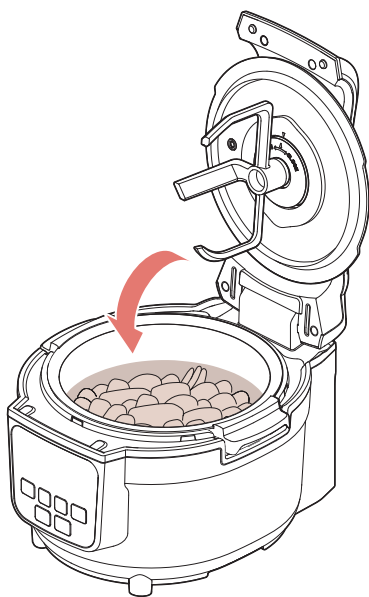


取っ手を持ってトップカバーをゆっくりと閉める

- ・ ガラスふたを使用する場合
ガラスふたパッキンが内なべのふちに接するまで押し込んでください。

3

- ・ ガラスふたを使用しない場合
トップカバーを一番下まで押し込んでください。

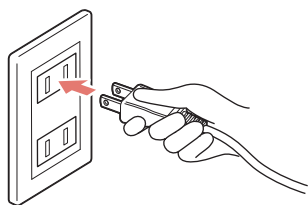


※内なべに具材を多く入れると、かくはん棒が具材に当たり、トップカバーが正しく閉まらない場合があります。

かくはん棒や具材の位置を調整し、トップカバーが一番下まで下がった状態で使用してください。

※トップカバーが一番下まで下がっていないと、ふたを正しく検知できないため、調理を開始できません。

電源プラグをコンセントに差し込む



4

→ [自動調理 P20](#)

→ [手動調理 P31](#)

→ [再加熱 P52](#)

自動調理

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。

予約のあり・なしで手順が変わります。

→[予約しない場合 P20](#)

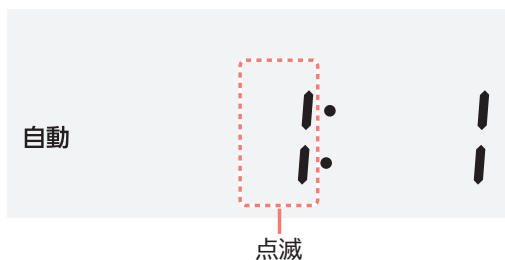
→[予約する場合 P25](#)

自動調理 予約しない場合

あらかじめ、[準備 P17](#) を参考に基本手順 4 まで進めてください。



を押して、自動を選択



- ・ 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

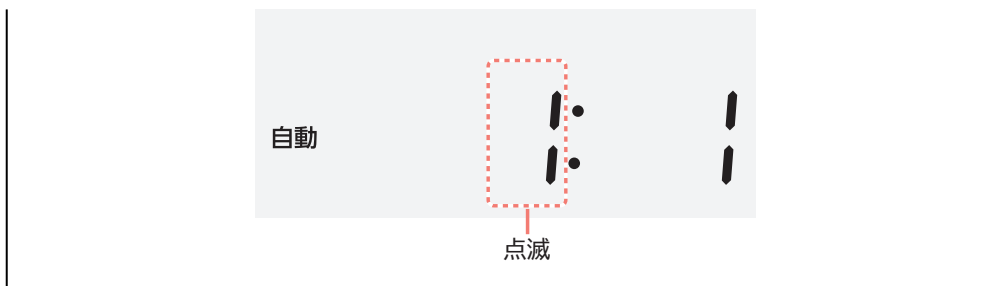
表示部の破線は点滅を表しています。

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ



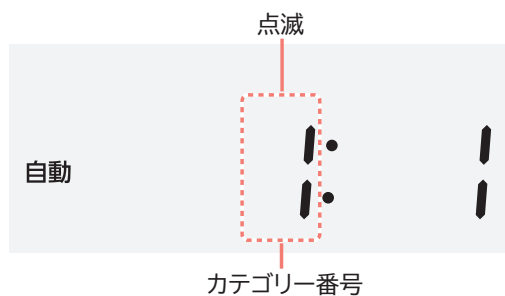
■自動

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。



で「カテゴリー番号」を選択し、

 を押す



カテゴリー
1 炒め物/焼き物
2 煮物
3 カレー/シチュー/スープ
4 ゆで/蒸し料理
5 パスタ
6 ご飯もの/丼の具
7 炊飯

で「メニュー番号」を選択し、

 を押して調理開始

カテゴリー	メニュー番号
1 炒め物/焼き物	1～20
2 煮物	1～12
3 カレー/シチュー/スープ	1～12
4 ゆで/蒸し料理	1～6
5 パスタ	1～3
6 ご飯もの/丼の具	1～6
7 炊飯	1～5

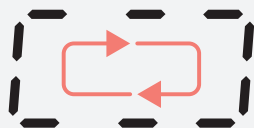


予熱中

予熱中は表示が回転します。

4

自動 回転



- ・ 予熱が終了すると、自動的に調理状態に移行します。
- ・ 予熱中、かくはん棒は回転しません。

調理中

できあがりまでの時間を表示します。

5

自動 回転



- ・ 後入れ食材のあるメニューは、ブザーが鳴ったらレシピにしたがって食材を追加し、スタート/決定ボタンを押してください。

※後入れ待機状態のまま 10 分経過すると、自動的に次の調理工程に進み、調理が完了します。

調理終了

6

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。

→[一時停止 P23](#)

→[加熱が足りないときは\(延長\) P23](#)

→[保温 P24](#)

→[自動 OFF 機能 P24](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長加熱ができるメニューは延長と時間表示が点滅し、延長加熱ができる状態になります。



- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。

カテゴリー	延長可能時間	延長加熱回数
1 炒め物/焼き物 5 パスタ 6 ご飯もの/丼の具	1～5 分(1 分単位)	1 回まで
2 煮物 3 カレー/シチュー/スープ 4 ゆで/蒸し料理	1～15 分(1 分単位)	2 回まで
7 炊飯	延長できません	

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。
延長が解除されると、保温ができるメニューは自動的に保温へ移行します。

■ 保温

延長を解除する、または延長終了後、一部の自動メニューは自動で保温に移行します。



- ・ 保温ランプが点灯し、保温開始からの経過時間が表示されます。
- ・ 保温は最大 12 時間までです。

- ・ 保温を途中で停止するときは、 を押してください。

■ 自動 OFF 機能

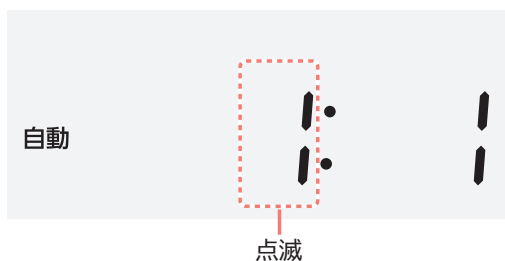
調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

自動調理 予約する場合

あらかじめ、[準備 P17](#) を参考に基本手順 4 まで進めてください。

手動
自動

を押して、自動を選択



- ・ 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

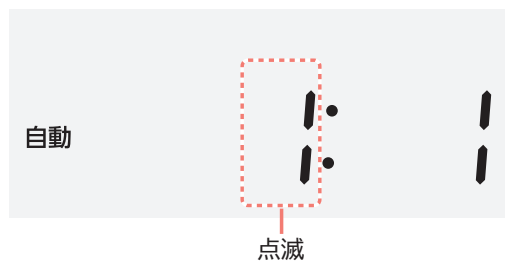
表示部の破線は点滅を表しています。

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ



■自動

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。

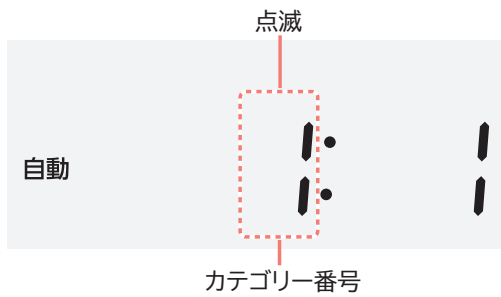




で「カテゴリー番号」を選択し、



を押す



2

カテゴリー
1 炒め物/焼き物
2 煮物
3 カレー/シチュー/スープ
4 ゆで/蒸し料理
5 パスタ
6 ご飯もの/丼の具
7 炊飯



で、「メニュー番号」を選択

カテゴリー	メニュー番号
1 炒め物/焼き物	1~20
2 煮物	1~12
3 カレー/シチュー/スープ	1~12
4 ゆで/蒸し料理	1~6
5 パスタ	1~3
6 ご飯もの/丼の具	1~6
7 炊飯	1~5

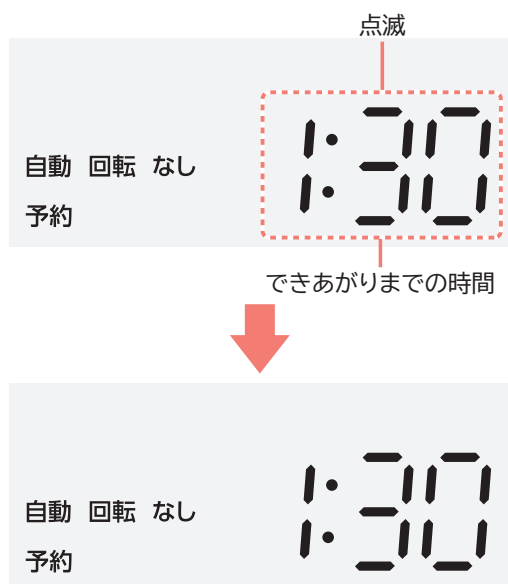
3

- ・予約可能なメニューのときは表示部の「予約」が点滅します。



予約 を押して、< > で「できあがりまでの時間」を設定し、
スタート決定 を押して調理開始

- ・最大 12 時間(10 分単位)まで、予約設定できます。



予約したメニューは … 最初に調理を済ませ保温します。予約時刻前に適切な温度になるように再度加熱します。

調理中

できあがりまでの時間を表示します。



調理終了

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。

→ [一時停止 P29](#)

→ [加熱が足りないときは\(延長\) P29](#)

→ [保温 P30](#)

→ [自動 OFF 機能 P30](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長加熱ができるメニューは延長と時間表示が点滅し、延長加熱ができる状態になります。



- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。

カテゴリー	延長可能時間	延長加熱回数
1 炒め物/焼き物 5 パスタ 6 ご飯もの/丼の具	1～5 分(1 分単位)	1 回まで
2 煮物 3 カレー/シチュー/スープ 4 ゆで/蒸し料理	1～15 分(1 分単位)	2 回まで
7 炊飯	延長できません	

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。
延長が解除されると、保温できるメニューは自動的に保温へ移行します。

■ 保温

延長を解除する、または延長終了後、一部の自動メニューは自動で保温に移行します。



- ・ 保温ランプが点灯し、保温開始からの経過時間が表示されます。
- ・ 保温は最大 12 時間までです。

- ・ 保温を途中で停止するときは、を押してください。

■ 自動 OFF 機能

調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

手動調理

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

煮込み調理、炒め調理、蒸し調理、温度調理を調理することができます。

材料の準備は、付属のレシピブックまたは [WEBレシピ](#) をご確認ください。

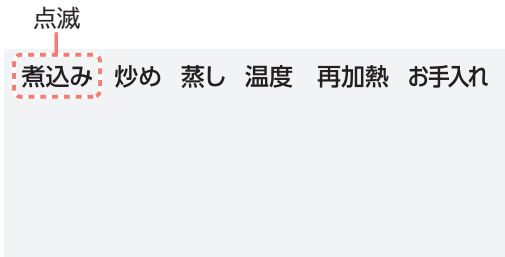
手動モード カテゴリー一覧		
煮込み	煮込み調理をする(かき混ぜあり・なし)	→ 煮込み P32
炒め	炒め調理をする(かき混ぜあり)	→ 炒め P37
蒸し	蒸し調理をする	→ 蒸し P41
温度	温度調理をする	→ 温度 P45
再加熱	あたため直しをする(かき混ぜあり・なし)	→ 再加熱 P52
お手入れ	加熱により汚れを浮かせ、お手入れしやすくします	→ お手入れ P54

煮込み

あらかじめ、[準備 P17](#) を参考に基本手順 4 まで進めてください。



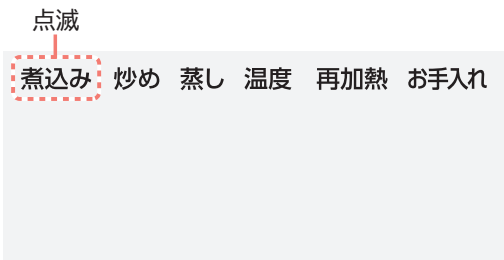
を押して、手動を選択



- ・ 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

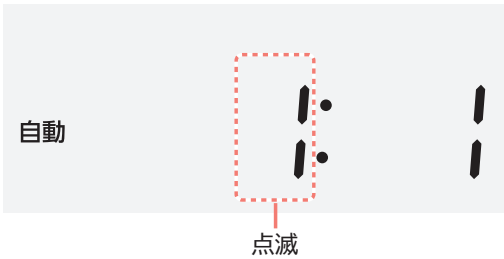
■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。



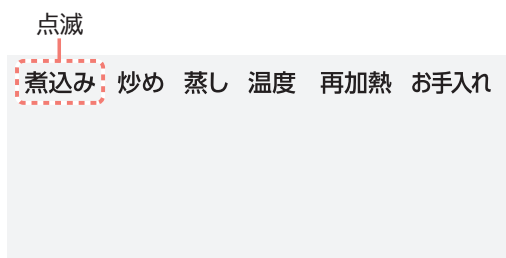
■自動

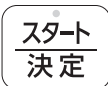
材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。



< > で「煮込み」を選択し、を押す

2



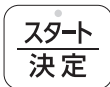
< > で「火加減」を選択し、を押す

3

- ・ 弱・中・強 から選択してください。

【例：中】



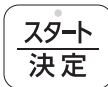
< > で、「回転のあり・なし」を選択し、を押す

4

- ・ 回転・回転なし から選択してください。

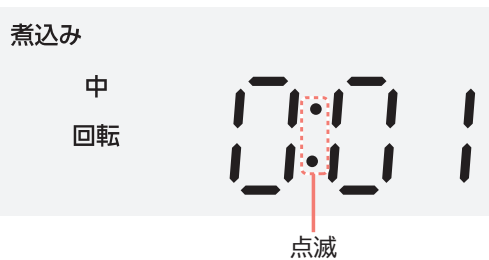
【例：回転あり】



< > で、「調理時間」を設定し、を押して調理開始

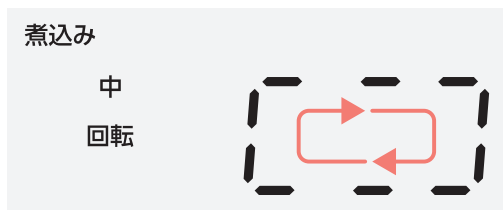
5

- ・ 設定範囲(1分単位):1分(0:01)～6時間(6:00)
- ・ 設定時間は、予熱時間を含みません。



予熱中

予熱中は表示が回転します。



- ・ 予熱が終了すると、自動的に調理状態に移行します。
- ・ 予熱中、かくはん棒は回転しません。

調理中

表示が設定した時間に切り替わり、できあがりまでの時間を表示します。



調理終了

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。



- ・ トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

→ [一時停止 P35](#)

→ [加熱が足りないときは\(延長\) P35](#)

→ [保温 P36](#)

→ [自動 OFF 機能 P36](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長と時間表示が点滅し、延長加熱ができる状態になります。



- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。
延長可能時間: 1～15 分(1 分単位)
延長加熱回数: 2 回まで

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。
延長が解除されると、自動的に保温へ移行します。

■ 保温

延長を解除する、または延長終了後、自動で保温に移行します。



- ・ 保温ランプが点灯し、保温開始からの経過時間が表示されます。
- ・ 保温は最大 12 時間までです。

- ・ 保温を途中で停止するときは、 を押してください。

■ 自動 OFF 機能

調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

炒め

あらかじめ、[準備 P17](#) を参考に基本手順 4 まで進めてください。

- 水分や調味液が内なべの水位線【2】の線を超える場合は、[「煮込み P32」](#)を使用してください。本体が高温になり、上手く調理できない場合があります。

手動
自動

を押して、手動を選択

点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ

- 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ



■自動

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。

自動

点滅

点滅

1

2



で「炒め」を選択し、

スタート
決定

を押す

ボタンを押すたびに、下記のように切り替わります。

→ 煮込み ↔ 炒め ↔ 蒸し ↔ 温度 ↔ 再加熱 ↔ お手入れ ←

点滅
煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ

< > で「火加減」を選択し、スタート
決定 を押す

- ・ 弱・中・強 から選択してください。

【例:中】

点滅
炒め
弱 中 強
回転

< > で、「回転頻度」を選択し、スタート
決定 を押す

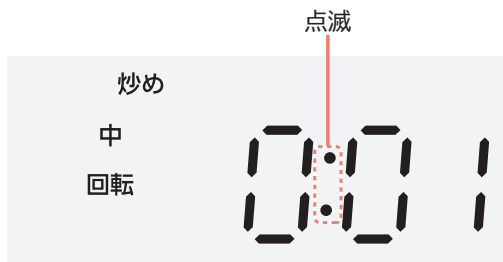
- ・ 1(よく混ぜる)、2(たまに混ぜる)、3(あまり混ぜない) から選択してください。

【例:1(よく混ぜる)】

炒め
中
回転
点滅 点滅

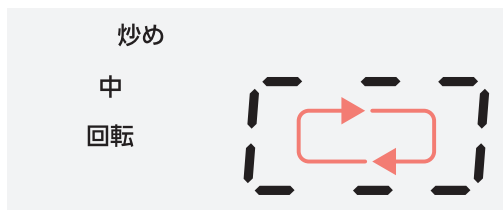
< > で、「調理時間」を設定し、スタート
決定 を押して調理開始

- ・ 設定範囲(1分単位)
弱:1分(0:01)~2時間(2:00)
中:1分(0:01)~15分(0:15)
強:1分(0:01)~15分(0:15)
- ・ 設定時間は、予熱時間を含みません。



予熱中

予熱中は表示が回転します。



- ・ 予熱が終了すると、自動的に調理状態に移行します。
- ・ 予熱中、かくはん棒は回転しません。

調理中

表示が設定した時間に切り替わり、できあがりまでの時間を表示します。



調理終了

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。



- ・ トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

→ [一時停止 P40](#)

→ [加熱が足りないときは\(延長\) P40](#)

→ [自動 OFF 機能 P40](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長が点滅し、延長加熱ができる状態になります。

- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。
延長可能時間:1～5 分(1 分単位)
延長加熱回数:1 回まで

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。

※保温はできません。

■ 自動 OFF 機能

調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

準備

1. 内なべとガラスふたをセットする(→[準備 手順 1・2 P17](#))
 2. 内なべに水(200ml)を入れて蒸しプレートセットし、蒸しプレートの上に材料を並べる(→[準備 手順 3 P18](#))
 3. 取っ手を持ってトップカバーを閉める
 4. 電源プラグをコンセントに差し込む(→[準備 手順 4 P19](#))
- ・必ずガラス蓋を取り付けて調理を行ってください。
 - ・蒸しプレートとかくはん棒の同時使用はできません。

手動
自動

を押して、手動を選択

点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ

- ・ 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。

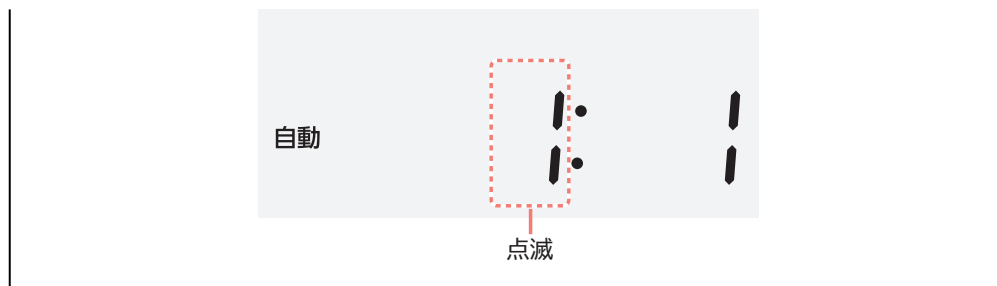
点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ



■自動

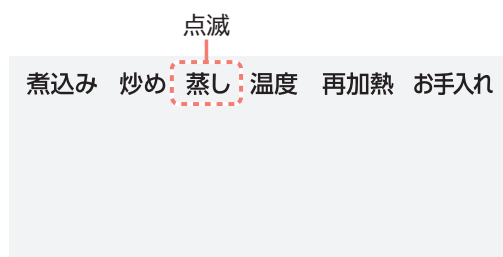
材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。



< > で「蒸し」を選択し、スタート
決定 を押す

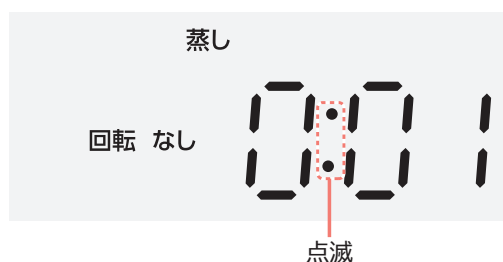
ボタンを押すたびに、下記のように切り替わります。

→ 煮込み ↔ 炒め ↔ 蒸し ↔ 温度 ↔ 再加熱 ↔ お手入れ ←



< > で、「調理時間」を設定し、スタート
決定 を押して調理開始

- ・ 設定範囲(1分単位): 1 分(0:01)～2 時間(2:00)
設定時間は、予熱時間を含みません。



予熱中

予熱中は表示が回転します。



- ・ 予熱が終了すると、自動的に調理状態に移行します。

- ・ 予熱中、かくはん棒は回転しません。

調理中

表示が設定した時間に切り替わり、できあがりまでの時間を表示します。

6



調理終了

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。

7



注意

- ・ トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

→ [一時停止 P44](#)

→ [加熱が足りないときは\(延長\) P44](#)

→ [自動 OFF 機能 P44](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長が点滅し、延長加熱ができる状態になります。

- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。
延長可能時間: 1～15 分(1 分単位)
延長加熱回数: 2 回まで

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。

※保温はできません。

■ 自動 OFF 機能

調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

温度

■ 低温調理について

低温調理では高温による殺菌ができないため、調理方法を誤ると食中毒を起こすおそれがあります。

調理の際は、以下の注意を守ってください。

- ・ 調理前に手や器具をよく洗い、衛生的に調理してください。
- ・ 調理時は、直接手で食材に触れないでください。
- ・ 食材は新鮮なものを使用し、調理に使用するチャック付き密封袋は毎回新しいものを使用してください。
- ・ 食肉を調理する場合は、必ずかたまり肉を使用してください。
鶏むね肉など、厚みが不均一な肉は、観音開きにして厚みを均一にしてください。
- ・ 水は常温の水を使用してください。
- ・ 設定温度は、食材の中心温度ではありません。
食材や調理環境によっては、水温が設定温度に達するまでに時間がかかったり、水温と設定温度に差が生じたりする場合があります。
食材の種類や大きさ、厚み、量によって、加熱に必要な温度や時間は異なります。
食材の量や調理環境、水量、初期水温によっては、水温が上がりにくい場合があります。
食材の中心部まで十分に加熱されていることを確認してからお召し上がりください。
加熱温度に不安があるときは、仕上がりを見て追加加熱をしてください。
- ・ 途中で水や材料の追加はしないでください。
- ・ 加熱延長する場合、水や材料の追加はしないでください。
- ・ 調理後は粗熱を取った後 90 分以内にお召し上がりいただくか、冷蔵保存をしてお早めにお召し上がりください。
常温で長時間放置すると、食中毒のリスクが高まります。
- ・ 妊婦・乳児・高齢者など免疫力の弱い方に食べさせるときは、十分に注意してください。
調理や食品の状態、健康の具合などに不安のあるときは食べさせないでください。
- ・ 調理時・保存時は、菌が繁殖する 5 ～ 55℃ の温度帯は避けてください。

食中毒菌等の死滅条件

細菌等	温度と加熱時間
腸管出血性大腸菌	75℃ 1 分
カンピロバクター	75℃ 1 分
サルモネラ属菌	75℃ 1 分
リステリア	65℃ 数分
ノロウイルス	85～90℃ 90 秒間以上

内閣府 食品安全委員会 広報誌「食品安全」第 50 号より引用

http://www.fsc.go.jp/visual/kikanshi/k_index_back_number_50.html

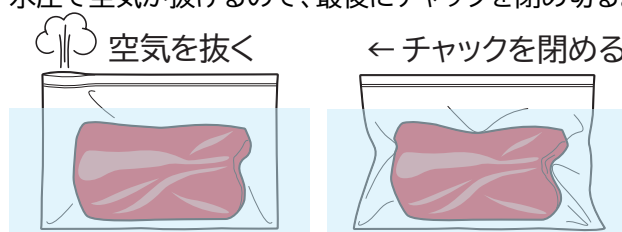
内なべとガラスふたをセットし(→[準備 手順 1・2 P17](#))、内なべに水を入れる

- 1
- 必ずガラスふたを取り付けて調理を行ってください。
 - かくはん棒は使用しないでください。

食材の準備をする

チャック付き密封袋に食材を入れて低温調理をする場合は、食材を入れた袋を内なべに入れ、袋全体が水に浸るように水を入れて加熱してください。

- 2
- 水は最大水位線以下にし、袋が浮かないようにしてください。
1. あらかじめ室温に戻した食材と調味料を混ぜ合わせてチャック付き密封袋に入れる。
 2. 1cm ほど残してチャックを閉め、水を張った内なべにゆっくりと沈める。
水圧で空気が抜けるので、最後にチャックを閉め切る。

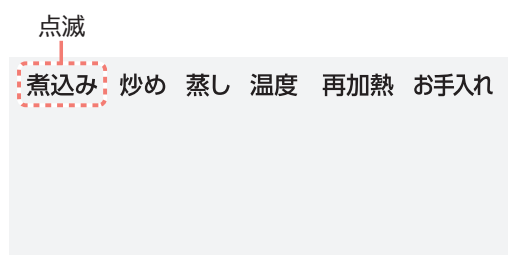


3. 食材の入った密封袋を水の中に完全に沈める。
浮き上がってくる場合は、おもりになるものを載せる。

3 取っ手を持ってトップカバーを閉め(→[準備 手順 3 P18](#))、電源プラグをコンセントに差し込む(→[準備 手順 4 P19](#))

手動
自動

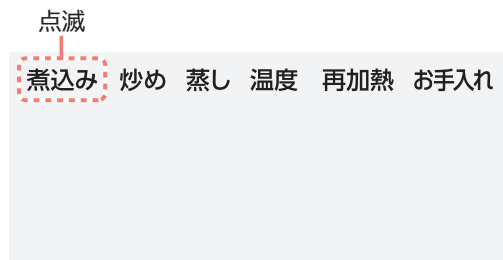
を押して、手動を選択



- 3
- 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

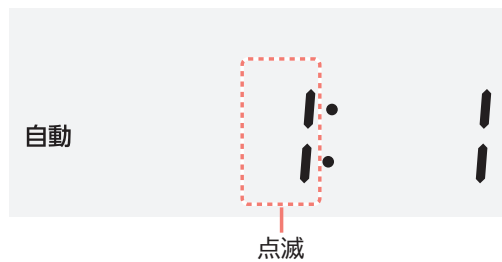
■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。



■自動

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。

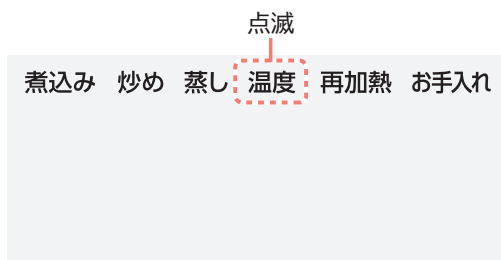


< > で「温度」を選択し、スタート
決定 を押す

ボタンを押すたびに、下記のように切り替わります。

→ 煮込み ↔ 炒め ↔ 蒸し ↔ 温度 ↔ 再加熱 ↔ お手入れ ←

4



< > で「温度」を設定し、スタート
決定 を押す

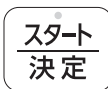
・ 設定範囲: 35～90℃(設定単位 5℃)

5





で、「調理時間」を設定し、



を押して調理開始

- ・ 設定範囲(1分単位):1 分(0:01)～6 時間(6:00)
- ・ 設定時間は、予熱時間を含みません。

6



予熱中

予熱中は表示が回転します。

7



- ・ 予熱が終了すると、自動的に調理状態に移行します。
- ・ 予熱中、かくはん棒は回転しません。

調理中

表示が設定した時間に切り替わり、できあがりまでの時間を表示します。

8



調理終了

調理が終了すると、ブザーが鳴ってお知らせします。

9



- ・ トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

- [一時停止 P50](#)
- [加熱が足りないときは\(延長\) P50](#)
- [保温するときは P51](#)
- [自動 OFF 機能 P51](#)

■ 一時停止

食材を追加したり、加熱状態を確認したりするときに使用します。

予熱中・調理中・延長調理中に  を押すか、トップカバーを開けると調理を一時停止します。
(一時停止中は表示部が点滅します。)

トップカバーを閉めて  を押すと、調理を再開します。

■ 加熱が足りないときは(延長)

調理終了後、延長が点滅し、延長加熱ができる状態になります。

加熱延長する場合、水や材料の追加はしないでください。

- ・ 延長加熱をする場合は、選択ボタンで時間を設定してください。
延長可能時間: 1～15 分(1 分単位)
延長加熱回数: 2 回まで

- ・ 延長加熱をしないときは、 を押してください。
何もせずに 10 分経過しても、延長は解除されます。

■ 保温するとき

保温
取消

を押してください。

※自動で保温にはなりません。

※保温機能は使用できますが、メニューによっては品質を保てない場合があるため、調理終了後は早めにお召し上がりください。

A digital display showing the number '0h' in a seven-segment font, indicating the start of the warming process.

- ・ 保温ランプが点灯し、保温開始からの経過時間が表示されます。
- ・ 保温は最大 12 時間までです。

保温
取消

- ・ 保温を途中で停止するときは、を押してください。

■ 自動 OFF 機能

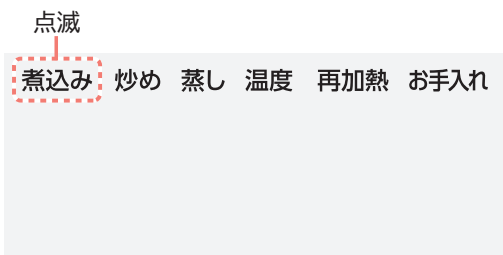
調理中・保温中を除き、10 分間操作がない場合、自動的に操作部の LED 表示が消灯し、待機状態になります。

再加熱

一度調理が終わったものを再度あたためるときに使用します。

手動
自動

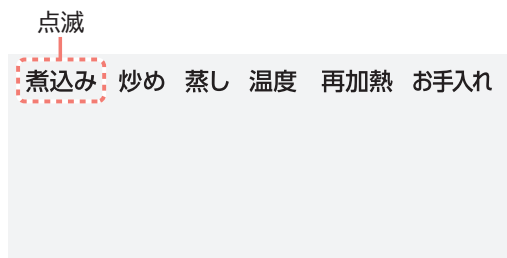
を押して、手動を選択



- ・ 押すごとに、手動⇄自動と切り替わります。

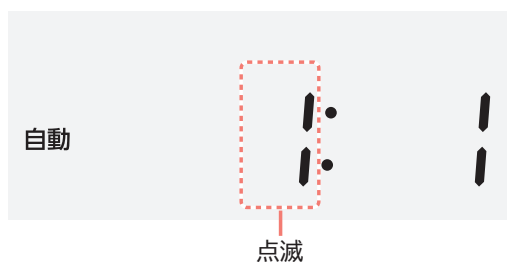
■手動

加熱の方法や調理時間を自由に設定して、調理を行うモードです。



■自動

材料を入れてメニューを選ぶだけで、自動で調理を行うモードです。



で、「再加熱」を選択して、

スタート
決定

を押す

ボタンを押すたびに、下記のように切り替わります。

→ 煮込み ↔ 炒め ↔ 蒸し ↔ 温度 ↔ 再加熱 ↔ お手入れ ←

3



で、回転のあり・なし「回転・回転なし」を選択

3

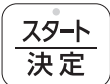


を押して、再加熱開始

【例：回転あり】



4

再加熱中に  を押すと、一時停止します。

食材の状況を見ながら  を押して、再加熱を終了させてください。

60 分経過すると、自動で再加熱が終了します。



- ・トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

お手入れ

使用後は毎回お手入れをしてください。



- ・ お手入れは、必ず調理や保温を停止し、電源プラグを抜いて、本体・ガラスふた・内なべなどが十分冷めてから行ってください。
- ・ 本体は水洗いしないでください。

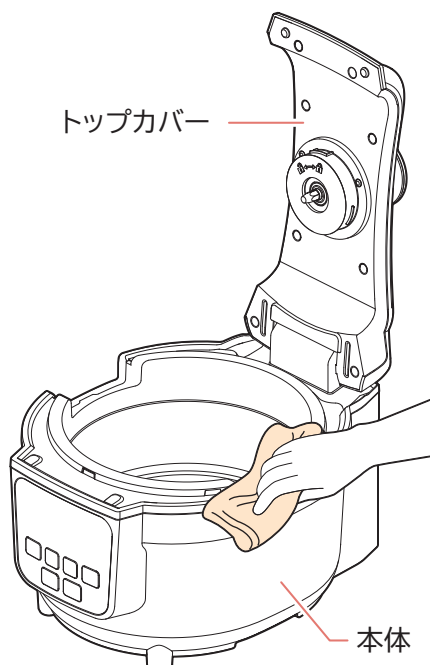
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤や薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りのスポンジなどは使用しないでください。
- ・ 内なべに汚れがこびりついた場合、ぬるま湯にしばらくつけてから洗ってください。
- ・ こびりついた汚れなどを落とす際に、刃物や硬いものなどを使用しないでください。

ー 本体・トップカバー・温度センサー・ヒーター

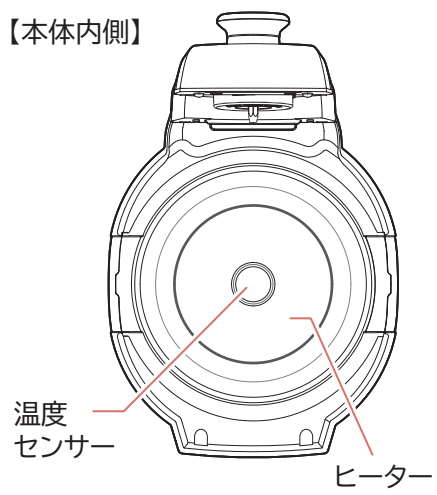
よく絞ったふきんでふく

汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませたやわらかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。

※ 内部に水や液体が入らないようにしてください。



【本体内側】



— ガラスふた・かくはん棒・内なべ

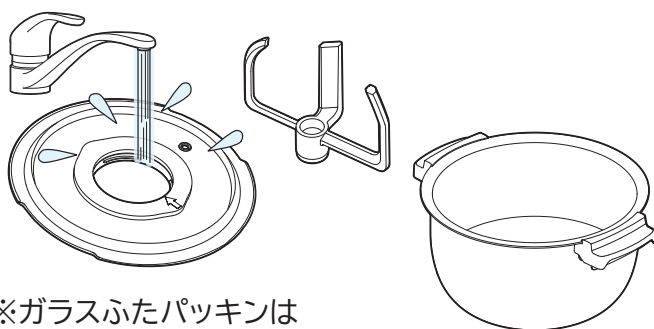
台所用中性洗剤を使って洗い、水で流す

・やわらかいスポンジなどを使用してください。

金属へら、金属たわし、ナイロンたわし、スポンジのナイロン面、クレンザーなどは使用しないでください。

・洗った後はよく乾かしてください。

湿気の多いところに放置したり、汚れが残ったまま放置したりすると、腐食の原因になります。



※ガラスふたパッキンは
取り外せません。

内なべの破損・コーティングのはがれを防ぐために、以下のことをお守りください。

- ・ 内なべが熱いうちに水を入れて急冷しない
- ・ 空だきしない
- ・ 金属製のへら・スプーンなどを使用しない
- ・ お手入れ時、刃物やかたいものを使用しない
- ・ 食器などかたいものを入れない
- ・ 食器乾燥機に入れない
- ・ 塩分・油分類(食用油・バター・マヨネーズなど)が付着したままで放置しない
- ・ 内なべで洗米しない



注意

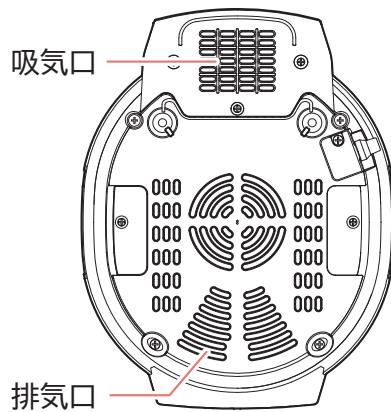
- ・ ガラスふたパッキンは取り外せません。

— 吸気口・排気口・電源コード・電源プラグ

乾いた布で拭く

汚れが取れにくいときは、かたく絞った布などで水拭きした後、から拭きしてください。

【底面】



注意

- ・ 吸気口・排気口にピンや針金などの金属物を入れないでください。故障の原因になります。

手動モード_お手入れ

加熱により汚れを浮かせ、お手入れしやすくします。

準備

1

1. 内なべに水(1 l)を入れ、本体にセットする。
2. ガラスふたを取り付ける。
必要に応じてかくはん棒もセットする。
3. 取っ手を持ってトップカバーを閉める。
4. 電源プラグをコンセントに差し込む。

手動
自動

を押して、手動を選択

2

点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ

<

>

で、「お手入れ」を選択

ボタンを押すたびに、下記のように切り替わります。

3

→ 煮込み ↔ 炒め ↔ 蒸し ↔ 温度 ↔ 再加熱 ↔ お手入れ ←

点滅

煮込み 炒め 蒸し 温度 再加熱 お手入れ

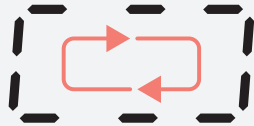
スタート
決定

を押して、お手入れ開始

4

- ・ 約 20～30 分加熱をします。
室温・水量・初期水温によっては水温が上がりにくく、完了までにかかる時間が長くなる場合があります。

お手入れ



加熱終了

終了すると、以下の表示になります。

お手入れ



点滅

5

終了したら、十分に冷めるのを待ってふたを開け、お手入れする。



注意

- ・トップカバーやガラスふたを開けるときは、出てくる蒸気やガラスふたから落ちる熱い水滴に気を付けてください。

- ・洗った後はよく乾かしてください。

保温
取消

- ・ **保温 取消** を押すと待機状態に戻ります。
操作をせずに 5 分経過しても待機状態に移行します。

こんなときは 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

－ ボタンを押しても動作しない

→電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

－ 勝手に表示が消えた

→無操作の場合、表示は約 5 分で消えます。

－ 調理中にふきこぼれる

→材料・水などの量は指定通りに入れてください。最大水量以上の水を入れないでください。

－ ガラスふた使用時に、蒸気口以外から蒸気がもれる

－ ふたと内なべの間から水がもれる

→ガラスふたを正しく取り付けてください。 ガラスふたをする際は、ガラスふたパッキンがめくれて固定されていないか確認してください。

→内なべを正しく取り付けてください。 本体と内なべの間に異物がないか確認して、異物がある場合は取り除いてください。

－ 料理が焦げ付く

→料理の量が少ないときは、できるだけ保温にせず、あたためなおしてお召し上がりください。

→材料・水などの量は指定通りに入れてください。

→温度センサー面が汚れていると、高温になり焦げ付きます。お手入れしてください。

→内なべの外側がぬれていると、焦げ付く場合があります。しっかりと水気を拭き取ってください。

→手動モードの火力設定を下げるか、時間設定を短く設定してください。

－ 調理が最後までできない

－ 調理が途中で止まる

- 調理中に電源が切れると、調理を最後まで行うことができません。
- 調理中にスタート／決定ボタンを押したり、ふたを開けたりすると、調理が一時停止します。
- 一時停止状態になっていないか確認してください。

－ 芯がある

－ 生煮えになる

- 食材のサイズが大きい場合は、中心部まで火が通りにくくなることがあります。食材のサイズを見直してください。
- 冷凍した食材を使用する場合は、加熱時間を長めに設定するか、解凍してから使用してください。
- 仕上がり状態に応じて、延長加熱を行ってください。
- 連続して使用すると本体が高温になりうまく調理できません。本体が十分に冷めてからお使いください。
- ふたパッキンや内なべの外側、温度センサーに異物が付着している場合、うまく調理できないことがあります。お手入れをしてください。

－ 設定した時間で調理が終わらない

- 設定時間は、予熱完了後の時間です。

－ 加熱の延長ができなかった

- 延長設定の受付時間は、調理終了後 10 分以内です。
- 設定した自動調理メニューによっては、延長加熱できない場合があります。(炊飯など)
- 延長可能回数を超えていないか確認してください。

－ 予約ができない

- 予約ができる自動メニューは、付属のレシピブックをご確認ください。
- 予約可能なメニューを選択すると、「予約」が点滅表示されます。
- 「予約」が点滅表示されない場合は、予約調理できません。

－ 予約時、すぐに調理が始まる

- 予約調理では、食材の衛生面に配慮して先に加熱を開始し、予約した時刻に食べごろの温度になるように調理します。故障ではありません。

－ かくはん棒が回転しない

- 設定したメニューによっては、かくはん棒が回転しません。「回転」表示が点灯しているか確認してください。
- 食材が多すぎるなど、かくはん棒の回転を妨げていないか確認してください。
- かくはん棒が接続部に正しく取り付けられているか確認してください。それでも直らない場合は、[修理専用コール P70](#) (☎ [電話をかける](#)) へご相談ください。

－ 回転時に音が鳴る(ウィーン、カタカタ、コトコト)

→モーターの駆動音や食材のかくはん音が鳴ります。

ー 本体や内なべがにおう

→使い始めのうちはプラスチックやゴムのにおいを感じるがありますが、使用にともない少なくなります。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P70](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [エラー表示 P65](#)
- ・ [お問い合わせ P70](#)

長年ご使用の自動調理鍋の点検を！



愛情点検

こんな症状はありませんか

- ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・ 本体が変形・破損していたり、焦げくさいにおいがしたりする
- ・ ガラスふたが変形・破損している
- ・ その他の異常や故障がある



ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店または[アイリスコール P70](#)（☎ [電話をかける](#)）に点検をご依頼ください。

エラー表示

■ 以下の表示が出たら、電源を切って「理由と処置」にしたがって、処置をしてください。

エラー表示	状態	理由と処置
U01 U02	動作しない	内部の異常温度を検知した。 →電源プラグを抜き、しばらく待って本体が冷めてから再度電源プラグを差し込んでみてください。それでも直らない場合は、 修理専用コール P70 (☎ 電話をかける)へご相談ください。
U03		連続して使用すると本体が高温になり、うまく調理できません。 →内なべを外して 10～15 分程度置いて本体が十分に冷めてから使用してください。内なべに水を入れてトップカバーを開けておくと、本体を冷ます時間を短縮できます。
E7 E8		かくはん棒の回転異常を検知した。 →電源プラグを抜き、内なべの食材の量を減らしてから再度使用してください。 それでも直らない場合は、 修理専用コール P70 (☎ 電話をかける)へご相談ください。
上記以外 のエラー E○		内部の異常を検知した。 →使用を中止し、 修理専用コール P70 (☎ 電話をかける)へご相談ください。



・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P70](#)

その他の情報

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

電源		AC100V(50／60Hz 共用)
定格消費電力		800W
容量	満水容量	4.0L
	最大調理容量	2.4L
製品寸法		幅 266×奥行 339×高さ 263mm(突起部除く)
質量		約 4.5kg(かくはん棒・ガラスふた含む)
電源コード長さ		約 1.0m
付属品		ガラスふた、かくはん棒、蒸しプレート、かんたん操作ガイド、レシピブック

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

－保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

保証書は、「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

－保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内においても無償保証の対象外になる場合があります。

詳しくは保証規定を参照してください。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P70](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P70](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P70](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisplaza.co.jp/index.php?KB=KAISO&CID=5457>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>